

## LOVE in Letter 8

### ～輸血を受けた患者さんのメッセージ～

献血をしてくださる皆様へ

はじめまして。私は血液の難病により現在1ヶ月に1～2回輸血を行っています。

病気は20代でなりました。

一番楽しい時、沢山やりたい事があった時に諦め、手放さなければいけない事の連続で、葛藤したりと、病気になった当初は受け入れるのに相当な時間がかかりました。時には歩く事も辛かったり日常生活に支障が出る事もあり。

輸血がなければ大変な状況です。

一度、手術をする事もあり、その時もやはり輸血が無いと出来ませんでした。病気を発症して以来、何度も輸血に頼っている中、その度に

「どんな方から血液を頂いているんだろう…」と考えてました。

時にはSNSで「#献血」のワードを検索し、献血に行って下さる方々の写真を拝見させて頂きながら、笑顔で献血に行ってくださいるみなさんを見て、元気をもらい励まされています☆☆

恥ずかしいながら、私は自分が輸血をする立場になるまでは献血に行った事も意識をした事もなかったので、自分と同じ年代の方々が献血してくださるの

を思うと本当に感心します。

何よりも、私の身体は定期的な輸血により皆様と同じように日常生活が保たれています。

いつか感謝の気持ちを伝える機会を願っていたので、今回お手紙を書かせて頂きました。

心からお礼を申し上げます。

私以上に輸血を必要とし、輸血に救われる患者さんは想像以上に沢山いらっしゃるかと思います。

そんな時、貴重なお時間を割いて献血に足を運んでくださる方々の善意を有難く受けとめ、今後も前向きに治療に励んでいきたいと思っています。

みなさんのご健康とご多幸を心からお祈りします。